

# ゼロ磁場について メカニズムと検証

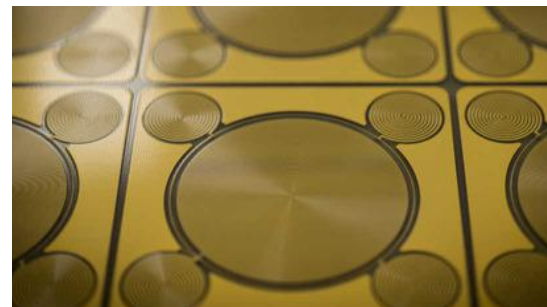
## ーゼロ磁場とはー

ゼロ磁場は古来より聖地やイヤシロチと呼ばれており、人を癒す働きがあるエネルギー発生地(パワースポット)とされています。その場所からは美味しい水が湧き出し、訪れることによって心身が癒されると伝えられています。



## ーゼロ磁場を発生させる仕組みー

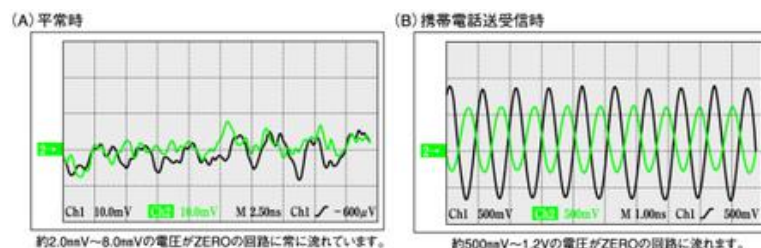
弊社のZEROシリーズ全てにゼロ磁場発生回路を搭載しており、人工的にゼロ磁場を作り出しています。ゼロ磁場発生回路はアンテナ部から空気中の電波や電磁波を取り込み、回路内に電流が流れることによってゼロ磁場を発生させています。  
※回路は基板タイプや印刷タイプ等、商品によって異なります。



## ーゼロ磁場回路内の電圧測定についてー

ゼロに流れる電圧を平常時(A)と、送受信時の携帯電話に近づけた場合(B)でそれぞれ測定してみました。  
→この実験によりZEROアンテナ部より地上電波や電磁を受信し、ZEROの渦巻き回路に常に電流が流れ、ゼロ磁場を形成していることがわかります。

測定機器：ソニーエレクトロニクス TDS684A / 2001.10 サンテック(株)開発部研究室



## ー生体ストレス軽減効果試験についてー

ゼロ磁場発生シールの生体ストレス度低減効果を確認する為、使用前・使用後の比較検証を行いました。通常時とゼロ磁場発生シールを貼付使用時のストレス度の変化を唾液の測定によって数値化しました。

測定機器：アミラーゼモニター(株)ニプロ社製 / 2018.04 遠赤外線応用研究会

生体ストレス度測定値

	使用前	使用60分後	低減値
ゼロ磁場発生シール	49	44	-5

(単位：KIU/L)

◇わずか60分で生体ストレス度測定値が約13%も減少。  
健康の目安である「ストレス度」を軽減する効果が期待できる。

## ー抗酸化力向上効果試験についてー

ゼロ磁場発生シールの生体の抗酸化力向上効果を確認する為、使用前・使用後の比較検証を行いました。通常時とゼロ磁場発生シール貼付使用時の変化を酸化還元電位を測定することで数値化しました。

測定機器：唾液酸化還元測定器(株)リブアンドラブ社製 / 2018.04 遠赤外線応用研究会

生体酸化還元電位測定値

	使用前	使用60分後	増減値
ゼロ磁場発生シール	86	75	-11

(単位：mV)

◇わずか60分で生体酸化還元電位測定値が約11%減少。  
アンチエイジングに非常に重要な「抗酸化力」を向上させる効果が期待できる。

上記結果において、様々な効果が証明されましたが、本検証では限られた時間の中で検証をおこなっております。長期に渡り継続使用することで更なる効果を期待することができます。

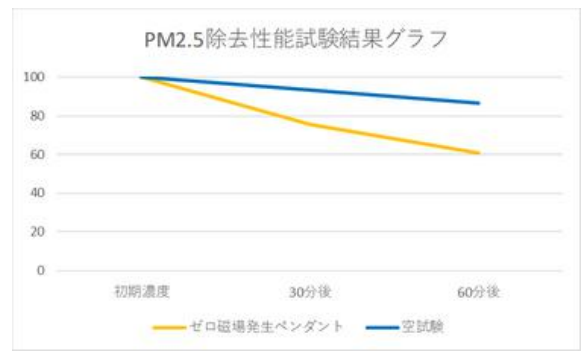
◇詳しくは弊社ホームページにてデータをご覧ください。



## ーPM2.5除去効果についてー

ゼロ磁場について、PM2.5の除去効果を確認する為の検証を行いました。PM2.5を入れた空間にゼロ磁場加工をしたペンダントを入れた場合の変化を数値化しました。

測定機器:DC110プロB型 DYDOS CORPORATION製  
2018.04 遠赤外線応用研究会



◇**わずか60分で除去率に26%もの差が出ました。**  
PM2.5除去にはかなり効果があることが分かります。

## 脳波測定試験について

ゼロ磁場使用することによって脳波にどのような変化が起こるのか、検証を行いました。

ゼロ磁場ペンダントを未着用の場合と着用した場合の変化を数値化し比較をしました。

測定機器:生体信号処理装置 ALPHA MASTER フットテクノ製  
2018.06 遠赤外線応用研究会

	経過時間			除去率
	初期濃度	30分後	60分後	
ゼロ磁場発生ペンダント	100	75.2	60.7	39.3
空試験	100	93.4	86.7	13.3

(単位: %)

	α波	β波	θ波	α波の増減値
着用前	15	81.7	3.3	+16.7
着用60分後	31.7	60	5	

(単位: %)

### ー脳波の種類ー

α波(アルファ波): 落ち着いている・集中している・リラックスしている状態で発生

β波(ベータ波): ストレス・緊張・イライラしている状態で発生

θ波(シータ波): 熟睡と起きている中間のまどろんでいる状態、閃き・洞察力が向上している状態で発生

◇**わずか60分の着用でα波は倍増し、非常にリラックス効果が高いことが分かります。** β波は20%以上軽減し、**ストレスや緊張を緩和**しています。またθ波は1.5倍以上増加しており、閃き・洞察の力までも向上しました。このことからゼロ磁場を使用することにより**生体にリラックス効果・ストレス軽減効果があること**が分かります。

## 睡眠改善効果試験について

ゼロ磁場を使用することによって睡眠にどのような変化が起こるのか、検証を行いました。

ゼロ磁場マットを枕の下に敷いていない場合と敷いている場合の変化を数値化し、比較をしました。

測定機器:DC110プロB型 DYDOS CORPORATION製  
2018.04 遠赤外線応用研究会

	ゼロ磁場発生マット	普通の枕	平均増減値
入眠潜時(寝つき)	9分00秒	14分00秒	-5分
覚醒(中途覚醒)	1時間2分30秒	1時間13分00秒	-11分
深睡眠	1時間32分30秒 (19.4%)	1時間20分00秒 (17.4%)	+12分30秒

◇平均して**入眠潜時が約30%早く**なりました。また、**中途覚醒は減少し、深睡眠時間は増幅**しました。このことから、ゼロ磁場マットを使用することで**睡眠改善効果があること**が分かります。

上記結果において、様々な効果が証明されましたが、本検証は限られた時間の中で検証をおこなっております。長期に渡り**継続使用すること**で**更なる効果を期待**することができます。

◇詳しくは弊社ホームページにてデータをご覧ください。

暮らしに“笑顔”を



株式会社ハッピートーク

HAPPY TALK Co., Ltd.

〒424-0103 静岡県静岡市清水区尾羽119-1  
TEL: 054-364-5455 FAX: 054-371-3600  
URL: <http://www.happy-talk.co.jp>

